## 考えの可視化【関係付ける】 ウェビングマップ

【校 種 · 学 年】小学校第1学年

【教科・領域】生活科

【実践の概要】

1 単 元 名 かぞくにこにこだいさくせん

2 単元の目標 家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどを考え, 自分の役割を積極的に果たす意欲をもつことができる。

3 本時の実際

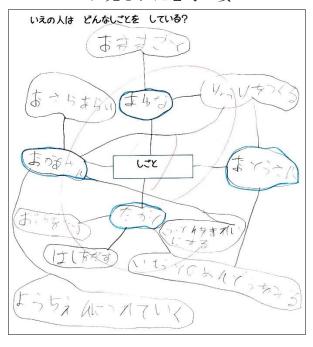
(1) 本時の目標

家庭内における様々な仕事やそれを家族が行い,家庭生活を支え,規則正しい生活 していることに気付くことができるようにしている。

(2) 本時の展開

時	主な教育活動	研究の視点
導	○前時の振り返り	
入	・家族がにこにこしているときはどんなときか	
	思い出す。	
	○家庭の中で、誰がどんなことをしているのかを	視点2(3)
展	ウェビングマップに記入する。(個人思考)	「思考を表現に置き換える」
開	○記入したウェビングマップを使って交流する。	
	(全体交流)	
終	○交流から家族の良さを感じ、自分ができること	
末	をやってみたいという意欲をもつ。	

## 4 ツールに見られた思考の姿



## 5 成果と課題

- ○家族のためにしていることがたくさんある ことが視覚的にとらえることができた。友達 との交流後に気付いたことを簡単に追加す ることができる点も有効であった。
- ○その後の学習で「いっしょにできそう」「一人でできそう」な家の仕事は何があるか、ウェビングマップを活用して考えた。ベン図など小学校低学年でも活用できそうな思考ツールの実践をしていきたい。